

教科	家庭科	学年	1年	標準授業時間数	35時間(隔週2時間)
----	-----	----	----	---------	-------------

目 標	教科目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活や技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	○生活に必要な知識や技術を活用し、実践的活動や体験的活動の充実を目指す。 ○中学生の時期に必要な栄養素の特徴と、健康によい食習慣を身につけることの重要性を理解させる。 ○日常着の手入れと補充を扱うことにより、身だしなみを整え、実生活の中で生かそうとする意欲を育てる。

評 価	観	生活や技術への 関心・意欲 ・態度	25 %	学習内容に関心を持ち、積極的に取り組む。提出物は完成させ、期限を守って提出する。
		生活を創意 工夫する能 力	25 %	自分の家庭生活に関する課題を見つけ、その解決を目指し、自分なりに工夫・創造する。
	点	生活の技能	25	生活に必要な基礎的な技術を身につけている。
		生活や技術に ついての知識 ・理解	25 %	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術との関わりについて理解する。
	材 料	授業態度、学習ノート、準備、片づけ、実習、定期テスト		
方 法	各評価材料を観点別に基準に従って評価する。			

学 習 方 法	使用教材	教科書「新しい技術・家庭科 家庭分野」(東京書籍) 学習ノート
	学習形態	教室では一斉授業で進める。 調理室、被服室の場合、班(グループ)で行う。
	学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の内容をよく聞き作業を進める。</li> <li>授業の内容はノートにまとめる。</li> <li>意欲を持って最後までやる。</li> <li>調理実習中は、安全面、衛生面に気をつけ、協力して行う。</li> <li>制作丁寧、能率よく進め、物を大切に取扱う。</li> <li>提出物の提出期限は必ず守る。</li> </ul>
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書やワークシートを見直す。</li> <li>授業内容を教科書を参考に、自分わかりやすいように整理する。</li> <li>習ったことやわかったことを家庭生活の中で生かしていく。</li> </ul>

年間授業計画

月	学 習 の 内 容	時数	学 習 の ポ イ ン ト
4	A生活の自立と食生活 私たちの食生活	3	*常に自分の食生活と関連づけさせながら、正しい食生活の重要性を理解させる。  *自分の中学校3年間の成長に関心を持たせ、栄養との深い関わりにつかせる。
5	1、食事の取り方	3	
6	2、食品と栄養素とのかかわり 3、栄養素のはたらき 4、中学生時期の栄養所要量と食品群別摂取量のめやす	3	
6	私たちの食品の選択と調理 ◎簡単な日常食の調理	3	
7	1、調理用具・器具の使い方	3	
9	2、包丁を使った材料の切り方	3	
10	3、さつまい 4、ホワイトシチュー	4	*調理の楽しさを知らせ、積極的に家事に関わる意欲を持たせる。 *計画の段階で調理の流れをイメージさせ、クッキングレポートを作る。 *準備から片付けまでの一連の流れを理解させ、能率よく動けるよう工夫させる。
11	私たちの衣生活	4	*基礎的なことを扱うことにより、自分で身だしなみを整え、家庭での衣生活にも関わろうとする態度を養う。
12	1、衣服の働きと着用の仕方	3	
1	2、衣服の手入れ	3	
2	3、衣服の補修	3	
3	(基礎的なことを応用した作品製作)	3	
合 計 時 数		35	